

## 【目次】

### 1. アーカイブ No.6

連載「日本労働会館物語」第 3 回 2010.02.10 発行の第 4 号に掲載

### 2. 来館見学、5 団体の皆様

- ①6/2(金) 連合広島尾道地域協議会 6 名
- ②6/2(金) JAM 香川・徳島 17 名
- ③6/3(土) 自動車総連・ヤマハ発動機労働組合 11 名
- ④6/26(月) JAM 山陽 11 名
- ⑤6/30(金) JAM 山陽 22 名

### 3. 来館見学・講演、2 団体の皆様

- ① 6/5(月) フード連合・マルハニチロユニオン 6 名
- ② 6/10(土) UA ゼンセン・東洋紡労働組合 3 名

### 4. 出張講演、3 団体の皆様

- ① 6/14(水)～16(金) 出張講演・UA ゼンセン・流通部門結成 10 周年記念講演 50 名(青森県)
- ② 6/22(木) 出張講演・UA ゼンセン・流通部門結成 10 周年記念講演 43 名(岩手県)
- ③ 6/28(水)～29(木) 出張講演・UA ゼンセン・流通部門結成 10 周年記念講演・北陸エリア 88 名(石川県)

### 5. 2023 年度評議員会が 6 月 6 日(火)友愛会館会議室にて開催される。

### 6. 夏季休館のお知らせ(2023.8.11～8.16)

---

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

#### 1.アーカイブ No.6

連載「日本労働会館物語」第 3 回 2010.02.10 発行の第 4 号に掲載

連載「日本労働会館物語」第 3 回

<ユニテリアンと矢野文雄（矢野龍溪）その 1 >

この「物語」は前身であるユニテリアン教会・惟一館とそのゆかりの人々の物語でもあり、惟一館やそこを拠点に活動を展開した人々をスケッチすることが一つの目的です。

今回はユニテリアンの招聘に動いた矢野文雄(矢野龍溪。1851～1931。ジャーナリスト)について記述します。

明治維新後、日本の近代化を進める政府は欧米列強との軋轢を回避し、不平等条約を撤廃するため欧化主義政策を採ります。その象徴的なものが鹿鳴館外交ですが、1873(明治6)年のキリスト教解禁もその一環です。これにより欧米より多くの宣教師が来日します。彼らは自派のキリスト教布教に急務で、しばしば神道や仏教を否定し日本文化を批判することが多かったようです。このため学校建設、近代医療の普及などを介して日本の近代化に少なからず貢献しますが、同時に教派教会としての他宗教、他文化への非寛容さにより日本人と軋轢を起こすことも少なからずありました。

しかし、当時はキリスト教＝西洋文化であり、日本の文明開化のためにはキリスト教を全面的に否定することはできません。そこで教派性を脱し、より開かれた進歩的なキリスト教を導入しようとする人たちが現れました。その一人が福沢諭吉門下の矢野文雄(自由民権家、小説家)です。

豊後・佐伯藩の中級武士の家に生まれ、1872(明治5)年に慶応義塾に入学した矢野は、大隈重信の立憲改進黨の結成に参画するなど自由民権運動で活躍します。明治14年の政変後、政界を追放された矢野は小説家としても活躍。1884(明治17)年に英国へ留学し、そこで英国社会を支える国民道徳としてのキリスト教、特に自由神学のユニテリアン教に注目します。

彼はユニテリアン教を個々の教派を超えた「運動」として、また「理性と良心を最も重んじ、現世の利益を追求する宗教」、「自然科学と社会科学や諸制度の発達と調和する宗教」として高く評価し、帰国後の1886(明治19)年に『郵便報知新聞』紙上でユニテリアンを日本に紹介します。

矢野は儒教に代わる「文明開化に相応しい新しい道徳」としてユニテリアン教に期待したのでしょう。彼はユニテリアン教を日本の国教とすることまでを提案し、1887(明治20)年はじめ、英国ユニテリアン教会に宣教師派遣を依頼します。イギリス側は様々な理由からこれを断り、結局、ユニテリアン宣教師来日は同年末、米国ユニテリアン協会のアサー・メイ・ナップにより実現します。

矢野文雄は今日、自由民権家・ジャーナリスト・小説家の矢野龍溪として知られますが、日本にユニテリアンを紹介し、宣教師を招聘しようとした知識人の一人としても記憶されるべきでしょう。

(連載第3回終り)

参考文献：「矢野文雄『周遊雑記』における自由主義思想」・山口亜紀、土屋博政教授の一連のユニテリアン関連論文

## 2. 来館見学、5 団体の皆様

- ①6/2(金) 連合広島尾道地域協議会 6 名
- ②6/2(金) JAM 香川・徳島 17 名
- ③6/3(土) 自動車総連・ヤマハ発動機労働組合 11 名
- ④6/26(月) JAM 山陽 11 名
- ⑤6/30(金) JAM 山陽 22 名

5 団体の皆様が、来館見学。安部担当から常設展展示「日本労働運動の 100 年余り」の解説を受けながら展示室、書庫、三代会長の胸像、モニュメント、日本労働運動発祥之地の記念石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦塀跡を見学しました。

## 3. 来館見学・講演、2 団体の皆様

- ①6/5(月) フード連合・マルハニチロユニオン 6 名
- ②6/10(土) UA ゼンセン・東洋紡労働組合 3 名

2 団体の皆様が、来館。藤吉館長から、講義「日本労働運動の 100 年余」を受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学と日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦塀跡を見学し、記念撮影を行いました。皆さんとっても熱心に受講し、細かく見学した様子でした。

## 4. 出張講演、3 団体の皆様

- ①6/14(水)～16(金) 出張講演・UA ゼンセン・流通部門結成 10 周年記念講演 50 名(青森県)
- ②6/22(木) 出張講演・UA ゼンセン・流通部門結成 10 周年記念講演 43 名(岩手県)
- ③6/28(水)～29(木) 出張講演・UA ゼンセン・流通部門結成 10 周年記念講演・北陸エリア 88 名(石川県)

3 団体の皆様のところへ、藤吉館長が出向き講演。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民非共産の考え方」などを学習しました。さらに流通労働運動の歴史と産別統合、政策立案能力と政治力、強いリーダーシップの必要性。労使関係における生産性運動三原則など幅広く学びました。中でも、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」と鈴木文治(人間

性と職業能力の向上・松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージなどに関心と興味を引いた様子でした。

## 5.2023 年度評議員会が 6 月 6 日(火)友愛会館会議室にて開催される。

評議員会の冒頭、議長である宮本代表理事の挨拶で始まりました。

### 〈報告事項と議案〉

代表理事の挨拶を受けて、各担当から 2022 年度の①友愛労働歴史館事業(藤吉友愛労働歴史館館長)、②労使関係研究協会事業(滑川労使研事務局長)、③宿泊事業(菊池総務部長)の報告がされた。その後、滑川常務理事から 2022 年度決算予測が説明された。

なお、次の議案はすべて採択されました。

### 第 1 号議案 2022 年度決算報告及び監査報告承認の件

決算報告

公益目的支出計画実施報告

監査報告

### 第 2 号議案 2023 年度 常勤役員に対する報酬(案)承認の件について

## 6.お知らせ

### ①友愛労働歴史館の 8 月の臨時休館日

夏季の 8 月 14 日(月)から 16(水)を臨時休館とします。

2023 年 8 月 11 日(金)～2023 年 8 月 16 日(水)の期間、友愛労働歴史館は休館とします。

-----「人間の尊厳、進歩と発達のために」-----

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール [yuirodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuirodorekishikan@rodokaikan.org)

HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

-----惟一館から 128 年、友愛会から 110 年-----